

産業の振興施策として

恵まれた自然生かします

豊かな資源

最大限活用

水産業の振興

本村の基幹産業である水産業をより安定的に発展させるため、漁港施設などの基盤整備を計画的に進めるとともに、多様化する消費者ニーズを的確にとらえ、豊かな水産資源を最大限に活用し、本村ブランドの育成と定着化に向けた、商品開発などを推進し、市場開拓から流通に至る、総合的なマーケティングの支援に努めてまいります。漁業系廃棄物対策につきましては、岩手県や漁業協同組合など関係機関との協力・連携により再資源としての活用を図るとともに、より効果的な活用策について、その試験研究に一層取り組んでまいります。

また、昆布など未利用部分の活用により、こんぶうどんの商品化、販路拡大に取り組んでまいります。将来展望に立ち、村の特産品となるよう一層の取り組みを行ってまいります。

農林業の振興

大規模農地を利用する農業は、農地の有効活用と專業農家の育成を図り農用地総合整備事業を進めている造成地や既存農地も含め地域生産、地域消費を目指した総合経営農業を農協と連携して推進してまいります。

さらに、県営農地開発事業により整備された農地利用につきましても、専門機関などの指導をいただきながら、取り組んでおりますが、遊休農地化に歯どめがかからない状況にありますので、今後も一層、土づくりと併せ、営農対策に取り組んでまいります。

商工業の振興

広域消費生活が活発化し、大型店進出に伴い小型店の存続が困難をきたす中で、時代の動向に合うようなきめこまやかな対応策を打ち立てるため、商工会との連携を深め、新規に中小企業資金利子補助事業に取り組み、ポイントカード事業の継続、道の駅事業への参画を模索するとともに、特産物の情報発信と産地直送事業の推進を引き続き図る考えであります。



一本釣り。豊かな自然を生かした体験型観光を進めます

工業は、地域資源を活かした既存地場産業の支援と新たな加工事業の推進を図るとともに、地域産業の活性化につながる企業誘致にも引き続き努力しなければなりません。

また、雇用対策については、きわめて厳しい雇用情勢に的確に対応するため国や県の施策と連携しながら、即効性の高い雇用、就業機会の創出に引き続き努めてまいります。

体験型観光 推進に努力

観光・グリーンツーリズムの振興

見る観光から体験する観光に観光動向が変化している中で、利用者ニーズに合わせた、新しい観光資源受け入れ体制を創り出すとともに、都市住民や学生たちが農山村に滞在し、さまざまな体験ができるブルー・グリーンツーリズムによる体験型観光の推

進に引き続き努めてまいります。

休養施設の経営改善の方針

国民宿舎「くろさき荘」につきましても、依然として厳しい経営環境にある中、施設の存続を考え、休養施設運営審議会の意見や庁内の事務改善委員会による議論、コンサルトによる経営診断などの結果を踏まえながら、運営改善に取り組んでまいりましたが、その成果が実を結ばない状況にあります。

平成17年4月から民間への一部業務委託方式による運営に踏み切り、累積債務を増やさぬよう努力するとともに、平成18年度以降に向けての施設の改良などのあり方の検討を進めてまいります。

海の家「まついそ」につきましても、平成15年度から民間の運営に変えたことにより単年度収支が健全経営に転じておりますので、この方式での継続運営により累積債務も2～3年で解消できる見通しが立ちました。今後も村民の皆さまからご利用いただき、早期の経営健全化の達成に努めてまいります。

(次ページに続く)